

令和 6 年度学校関係者評価報告書

群馬調理師専門学校は、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動の状況について、自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめました。

基準 1	教育理念・目標
基準 2	学校運営
基準 3	教育活動
基準 4	学修成果・教育成果
基準 5	学生支援
基準 6	教育環境
基準 7	学生の受け入れ募集
基準 8	教育の内部質保証システム
基準 9	財務
基準 10	社会貢献・地域貢献

令和 7 年 5 月 1 日

学校法人 山崎学園
群馬調理師専門学校

1 総評

基準 1 教育理念・目標

群馬調理師専門学校（以下、「当該専門学校」という。）は、前橋市千代田町に昭和 35 年 4 月に調理師の専門技術者の養成を目的にした厚生省認可の学校として群馬調理師学校（定員 40 名）開校。昭和 42 年、学校法人の認可。

昭和 57 年 4 月、前橋市南町 3 丁目に新校舎落成、その後調理師制度の多様化に備えて平成元年、現在地の前橋市小屋原町に新校舎落成。令和 6 年（2024）5 月 1 日現在、学生数は 130 名である。

当該専門学校は、調理の専門技術習得の職業教育を通して、社会に貢献できる、心身共に明朗・健全な人材を育成することをミッションにしている。

基本的な考え方としては、①技術の習得②資格の取得③就職の達成を目指す。

教育理念、育成人材像を達成するため入学から、在学中、卒業まで一貫とした教育プログラムに基づく教育活動を展開している。

特に、就職支援の取り組みは、専門就職率の高さ、技術習得については、調理師養成施設技術コンクール全国大会において、文部科学大臣賞を受賞、また、過去に於いて最高賞である内閣総理大臣賞を 3 度受賞している。さらに 7 年連続で厚生労働大臣賞を受賞した。技能五輪全国大会西洋料理職種においては、数多くの入賞を果たしており、その指導力は評価できる。

基準 2 学校運営

学校運営は、学校の目的、目標を達成するため事業計画を毎年作成している。運営組織や会計処理等は規則・規定が整備され運用されているが、昇進・昇格制度、賃金制度は完全に整備されていないので、制度の整備が必要であるが、技術系の難しさがある。

基準 3 教育活動

各学科において、それぞれ、養成目的、資格取得、就職分野を明確にしている。育成人材像、教育目標、教育活動は、関連する業界のニーズに的確に対応するよう情報収集や連携に努めている。

学科の教育課程（カリキュラム）は、厚生労働省の規定だが実習においては学校独自のものを活用している。科目ごとにシラバスを作成し、理解度や到達度の確認は、試験などを実施し、検証をしている。

基準 4 学修成果・教育成果

当該専門学校は、就職支援に優れた取り組みを行っている。

調理職種への全員就職を目指し、それぞれの実習担当者が就職指導を行っている。

卒業生の就職先訪問を実施、一部卒業生には校友会を通じ新聞、ホームページで紹介をしている。

また、調理師養成施設技術コンクール全国大会において、文部科学大臣賞を受賞。また過去に於いて最高賞である内閣総理大臣賞を3度受賞している。さらに、7年連続で厚生労働大臣賞を受賞した。技能五輪全国大会西洋料理職種においては、数多くの入賞を果たしている。

基準 5 学生支援

就職支援のための「就職ガイダンス」を学校で開催し、60社を超える企業の人事担当者から面談を行う機会を提供している。

サークル活動においては、調理、製菓のほか体育系も活動しており、顧問として教職員が携わっている。保護者会も組織し、授業参観には就職や国家資格等について個別の相談に応じている。引き続き支援の継続が必要である。

基準 6 教育環境

施設・設備は厚生労働省指定養成施設としての要件を満たしている。

また、専門技術を磨くために日本料理、西洋料理、中国料理、集団調理実習室（合計6実習室）を完備、それぞれ専任の教員を配置している。

希望者（2年生）はフランス・アルカッションに短期留学が可能、ヨーロッパ研修旅行も実施。年2回学校環境衛生点検や年1回避難訓練を実施し、環境・安全面に配慮している。

基準 7 学生の受け入れ募集

一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期を遵守している。入学選考については、「入学選考等に関する規定」に基づき、適正に実施している。入学辞退者に対する授業料の返還は、募集要項に定め、適正に処理している。

基準 8 教育の内部質保証システム

法令や設置基準の遵守については、専修学校設置基準や調理師法を遵守する。

個人情報に関しても、「個人情報保護規定」を整備し運用している。

自己点検・自己評価への取り組みは「自己点検・自己評価に関する規定」を整備し、平成21年度から自己点検・自己評価を実施している。

基準 9 財務

社会を取り巻く経済環境は、消費税増税後、想定外の落ち込みが続き、厳しい経済状況の中、在学生数はほぼ同数だが、設備等の整備があり予算の執行については引き続き経費節減に取り組んできた。

単年度予算の編成は、収支計画に基づき、適切な手続きを経たうえで確定し執行した。

監査は、法人寄付行為に基づき監事が監査を行い、その結果を理事会、評議員会に報告するとともに、別に公認会計士に監査も受けている。

財務情報の公開は、私立学校法の規定に基づき、「財務情報公開規定」を整備し、公開請求に対応している。

基準 10 社会貢献・地域貢献

食文化の発信と学生たちの学習の発表を目的に毎年開催されている学園祭には地域の方が多数見学、各種講習会に参加した。

自己点検・評価表

実施日：令和 7 年 5 月 1 日

学校名：群馬調理師専門学校

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法その他関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、調理師としての品格の養成を図り、衛生ならびに食品に関する知識・技術を修得させ、以って社会食生活の向上に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・ 各国料理等の基礎知識と基礎技術をしっかり身につけさせ、将来現場において十分適応できるような調理師を養成する。
- ・ 食文化を担うという自覚と誇りをもたせ、これからの時代にふさわしい「調理師マインド」を育てる。
- ・ 調理師としての資質の向上と人格の形成につとめ、感性を培い、時代に即応できる国際感覚を身につけさせる。併せてこれからの飲食業界で活躍できるような調理師の育成につとめる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	④	3	2	1	学校要覧
1	1	2	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	③	2	1	オリエンテーション、パンフレット等
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	学校要覧等
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページ等
1	1	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	④	3	2	1	シラバス、パンフレット等
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	④	3	2	1	教育課程編成委員会等
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	パンフレット等

①課題

教育理念や目標は、積極的に伝える努力はしているが、正しく伝わっているかを測ることが難しい。

社会のニーズを把握する手段はあるが、時代の変化の速さに対応しきれない部分がある。特に本校は調理師養成施設としての指定カリキュラムがあり、その範囲内での変更となると大きく変更することは難しい。

②今後の改善方策

教育理念や目標を今後も積極的に伝える努力をしたい。

③特記事項

・特色として、2年次専攻制を採用

2 学校運営				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	学校要覧
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	③	2	1	
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定共有しているか	A	4	③	2	1	
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間行事計画
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	理事会議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	ホームページ
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	組織図
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	④	3	2	1	職員会議
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	健康診断書
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	施設設備点検票
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	履歴書

2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、 または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	③	2	1	
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	②	1	
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	各種研修会・講習会への参加
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	③	2	1	各種研修会・講習会への参加
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	研修会・講習会受講後の報告
2	4	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会 各種研修会・講習会への参加
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）</u>	B	4	③	2	1	各種研修会・講習会への参加 研修計画
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	シラバス等
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	就業規則
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	②	1	就業規則
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	専修学校教員規定
2	5	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	③	2	1	

①課題

意思決定や人事評価に関する決定プロセスに不明瞭な部分があり、明瞭化されていない。

②今後の改善方策

学校長を中心とした学校運営に注力し、スムーズな意思決定を測れるよう改善を行う。

給与体系に関しては、専門学校という性質上、前職での経験等を考慮する必要がある。

③特記事項

3 教育活動				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程認定校として規定内容の遵守
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	調理師関係法令に基づくカリキュラム
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	③	2	1	全単位修得者に卒業と専門士称号 調理師免許の申請要件
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	④	3	2	1	
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	④	3	2	1	ホームページ
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	④	3	2	1	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	③	2	1	
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	③	2	1	
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	④	3	2	1	
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	③	2	1	
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	③	2	1	

3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	認定校として内容を遵守
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	4	③	2	1	学校としては行っていないが、希望者が個々に行っている
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	ホームページ
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	出席通知、成績表オリエンテーション
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	外部講師に実技試験における評価を行ってもらう
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	卒業証明書 単位履修証明書 3-1-3 と同様
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	④	3	2	1	
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	3	②	1	外部講師による実習授業
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	A	4	③	2	1	高等学校からの依頼による実習授業

①課題

目標の設定、教育方法・評価方法は、適切な評価体制を整え組織的に対応している。

調理師養成施設としての決められたカリキュラムがあるため、広範囲にわたる授業は難しい。

②今後の改善方策

教員のスキルアップを図るための教員研修をはじめ、学生に対するアンケートの回数を増やす等、積極的な情報収集に努め、より満足度の高い授業の実現に向けて努力する。

③特記事項

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	③	2	1	
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	③	2	1	
4	1	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、職指導・支援の改善を図っているか）	A	④	3	2	1	就職一覧表
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	就職活動報告書
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	④	3	2	1	就職実績、HP、パンフレット
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	④	3	2	1	
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	調理技術コンクール上位入賞、技能五輪入賞等
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページ
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	③	2	1	パンフレット、ホームページ等

①課題

就職に関しては、就職担当者およびクラス担任の指導により、高い内定率になっている。

資格・免許の取得に関しては、卒業と同時に調理師免許申請資格が与えられるため、卒業を念頭に置いた指導に今後も注力していく。

②今後の改善方策

調理師免許以外の在学中に取得可能な資格を積極的に告知して受験を促し、必要に応じて対策授業等の合格に繋がる支援に心がける。

③特記事項

5 学生支援				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	③	2	1	
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか	A	④	3	2	1	
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	4	③	2	1	
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	③	2	1	高等教育の修学支援制度対象校
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	④	3	2	1	健康診断書
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	サークル
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	④	3	2	1	学園推薦ハイツの紹介
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	④	3	2	1	
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	③	2	1	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページ
5	6	中項目	保護者との連携（保護者・保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保護者と適切に連携しているか（保護者のニーズを把握しているか）	A	4	③	2	1	父母の会会則出席通知
5	6	2	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	③	2	1	
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	③	2	1	

5	7	21	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか (卒業生への講習・研修を行っているか)	B	4	3	②	1	
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が 整備されているか	A	4	③	2	1	

①課題

修学支援・就職等進路支援は、実習担当教員・クラス担任を中心として組織的に運用されている。学生相談もクラス担任が中心となっており、相談窓口等の設置はない。中途退学への対応は、事案により異なる。

②今後の改善方策

クラス担任の負担が大きくなり、クラス全員への配慮が不十分な部分もある。各クラスに副担任を配置し、担任と連携して業務にあたることで、クラス担任の負担が軽減できるようにしている。

中途退学者への対応は、出席状況の変化をいち早く把握し、保護者と連携を取ると同時に、教務責任者を含めた面談を行い、改善を促す。

③特記事項

6 教育環境				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	学生要覧
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	学校安全点検
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	外部講師による実習授業
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか	B	④	3	2	1	
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	消防計画

6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	火災・避難・放水訓練
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	A	④	3	2	1	学校安全点検

①課題

教育に必要な施設設備は十分に整っていると認識している。その一方で一部の施設設備には経年劣化が進んでいるところが見受けられる。

②今後の改善方策

経年劣化が進んでいる施設設備に関し、計画的な設備更新を心がける。

③特記事項

7 学生の受入れ募集				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	パンフレット
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	A	4	③	2	1	
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	4	③	2	1	募集要項
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	

7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	募集要項
---	---	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	------

①課題

学生募集は組織的・計画的に実施されているため問題ないと認識している。

将来の進路選択に迷っている生徒等に、調理師の魅力・やりがい等をどのように伝え、募集につなげていくか。

②今後の改善方策

出張授業等の機会に、現場の教員を派遣し、調理師の魅力・やりがい等を積極的に伝えていく。

③特記事項

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、 やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	③	2	1	
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	③	2	1	
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていないか	B	4	③	2	1	
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	③	2	1	山崎学園評価報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	④	3	2	1	
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	③	2	1	
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	B	④	3	2	1	学校関係者評価委員会
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1	

8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	ホームページ
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	ホームページ
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページ

①課題

関係法令・設置基準は各法令を遵守しているが、個人情報保護には更なる意識の強化が必要となる。

②今後の改善方策

自己点検を行った結果に基づき、学校関係者評価委員会の意見を参考に組織的な対応を心がける。

③特記事項

9 財務				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
9	5	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	財務諸表
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	④	3	2	1	予算案
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	財務諸表
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	会計監査
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	定例理事会・評議委員会

9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	ホームページ
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	④	3	2	1	ホームページ

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

1 0 社会貢献・地域貢献				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	③	2	1	
10	2	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	B	4	③	2	1	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	

①課題

コロナウイルス感染症蔓延期のため、対外的な活動は殆ど自粛していた。

②今後の改善方策

コロナウイルス感染症が第5類に移行したため、今後は各種活動の参加を検討したい。

③特記事項

1 1 国際交流（必要に応じて）				カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	3	②	1	
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	③	2	1	

11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	4	3	②	1	
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	③	2	1	調理師免許等の資格取得

①課題

留学生受け入れに関する体制そのものが整っていない。

②今後の改善方策

本校には日本語教育を行う課程がないため、日本語教育が修了し、日本での基本的な生活習慣を身につけた学生でないと受け入れは難しい。特に調理に関しては専門用語なども必要となるので、日本語の理解が深くないと難しい。

③特記事項